

# 佐竹総合海洋政策推進事務局次長の第5回アワオーシャン会合出席 (2018年10月29～30日 於:インドネシア共和国)



## アワオーシャン会合(Our Ocean Conference)

政府、経済界、シンクタンク、NGO等が集い、海洋問題について協議する国際会議。2014年に米国にて第1回会合を開催。第2回はチリ、第3回は米国、今年の第4回はEU、今回の第5回会合はインドネシアが主催。

参加者は、今回のテーマである、①海洋保護区、②気候変動、③海洋の安全保障、④海洋汚染、⑤持続可能な漁業、及び⑥ブルーエコノミーについて、予算措置等を伴う具体的施策を「コミットメント」として提出し、主催国が全体リストとして公表。(注:我が国政府のコミットメントは2頁参照)

主な出席者は、ウイド・インドネシア大統領ほかパラオ・ミクロネシア等5か国の首脳、ルトノ・インドネシア外務大臣、スシ・インドネシア海洋水産大臣、ルフット・インドネシア海洋担当調整大臣、ヴェッラ環境・海事・漁業担当欧州委員、ノルウェーやチリなどアワオーシャン会合開催国の閣僚、アルベール2世(モナコ大公)を含む多数の要人。

## 成果

- 1 官民上げて海洋問題に取り組む我が国の姿勢を印象付けた。
  - ・日本政府によるコミットメントの提出数は20点
  - ・多数の日系非政府機関もコミットメントを提出
- 2 我が国の主要施策の説明:
  - ・ASEAN・太平洋島嶼国諸国を対象とした各種技術協力
  - ・世界津波の日
- 3 「法の支配」と「科学的知見」の重要性の強調:
  - ・2回のスピーチにおいて強調



““Team Japan” will continue to do our at most for better ocean.”

## 日本政府がコミットメントとして提出した具体的施策

カテゴリー	内容	予算額等
持続可能な漁業	国連食糧農業機関(FAO)を通じた途上国の水産資源の国内施策導入支援	USD 0.38 million
	途上国カツオ・マグロ漁業管理能力強化支援事業	USD 0.36 million
	東南アジア漁業開発センターを通じた東南アジア地域の持続的水産業の推進	USD 1.83 million
	北太平洋海洋科学機関を通じた漁業管理のための人材育成支援	USD 74.25 thousand
持続可能な漁業/ブルーエコノミー	インドネシアとの漁業セクター開発の交換公文	USD 22.26 million
海洋汚染/ブルーエコノミー	海洋状況表示システムの構築	USD 1.16 million
海洋汚染	地球規模サンゴ礁モニタリングネットワーク(GCRMN)を通じたサンゴ礁保全活動	USD 0.28 million
	東アジア等における海洋ごみ調査及び国際連携の推進	USD 1.5 million
海洋の安全保障	海上法執行能力向上支援など、UNODCとの協力事業	USD 28 million
	第8回太平洋・島サミットで表明された海洋人材育成支援	500名/今後3年間
	フィリピン南部及びセレベス・スルー海域対テロ強靱性向上支援	USD 133.71 million
	津波に対する意識の向上を通じた防災・減災活動	USD 12 million
	海上法執行能力向上訓練コースの実施	USD 125 thousand
	水路測量に関する研修	USD 401 thousand
	海上保安実務者のための救難・防災研修	USD 241 thousand
	マレーシア海上法令執行庁に対する海上法執行や教育訓練等の能力向上支援	USD 1.25 million
	海上保安政策課程によるアジア諸国海上保安機関の人材育成支援	USD 0.53 million
	MCTによる外国海上保安機関の能力向上支援	USD 0.53 million
海洋の安全保障/気候変動	静止気象衛星「ひまわり」の気象データを活用した国際協力	USD 29.35 million
気候変動	海洋酸性化、海洋生物多様性及びマイクロプラスチック	USD 0.9 million